

基本構想		基本計画						
イメージ	基本目標	基本施策	基本施策目標値	2014現状値	2019実績値	2020目標値	2025目標値	基本目標の総括・行政評価での助言・実績値の理由
山のめぐみを受け ともに築く彩りの里	① 支えあう健康福祉のまちづくり	1健康づくり	健康づくり・病気予防対策の満足度(%)	79.5	64.3	80	85	<p>【基本目標の総括】</p> <p>○東栄病院を平成30年4月から公設公営化した他、令和元年度からは有床診療所とし地域医療の維持確保に努めている。合わせて令和4年4月の移転と同時に新たに設置する保健福祉センターや子育て支援センターの機能などを含め、現在関係機関などとの調整を進めている。</p> <p>○令和元年度には、それまで2園だった保育園を一園化し、とうえい保育園としてを新たに整備した。それによって早朝及び延長保育のニーズに対応できる体制となった。</p> <p>○平成29年度に、地域包括ケア推進計画を策定した。おいでん家が定着している。機能充実等今後の方向性の検討が必要な段階に差し掛かっている。</p> <p>○おいでん家を含め、配食サービス、移動販売、福祉タクシー券助成制度等サービスが複層化しているが、暮らしを支えるという観点から利便性や持続性について見直しが必要である。</p> <p>【行政評価での助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護や医療をはじめとする暮らしのセーフティネットは、生活を支える産業の土台部分となる。 ・地域包括ケアシステムが目指す町の姿を共有することが必要。 ・暮らしのセーフティネットの充実により働く人を支え、産業を支える仕組みが必要 <p>→東栄医療センターで行う集団健診日を減らしたことに加え土曜日に行う全地区の日を完全予約制にしたため。</p> <p>→対象者の数が少ない。また、実施側のマンパワー不足により事業実施が難しかったため。</p>
		2地域医療	地域医療・救急医療対策の満足度(%)	64.8	18.3	68	70	
		3地域福祉	住民同士の助け合いによる地域福祉活動の満足度(%)	68.7	59.8	83	100	
		4子育て支援	保育所や保育サービスへの満足度(%)	74.1	73.9	80	85	
			子育てへの支援の満足度(%)	65.3	63.6	70	80	
		5高齢者福祉	65歳以上の要介護・要支援者認定率(%)	21.9	20.9	26	26	
		6障がい者福祉	障がい者(児)への福祉施策満足度(%)	64.2	47.4	70	75	
		7社会保障	国保保険料の収納率(%)	95.96	96.49	98	100	
			特定健診の受診率(%)	46.52	41.55	60	70	
			特定保健指導の実施率(%)	22.53	3.03	60	70	
国保特別会計の健全性(%)	100		100.0	100	100			

*2019実績値のうち、色付きセルは2014現状値を下回ったもの

- 1) 薄赤色のセル:基本施策目標が「住民満足度」
- 2) 青色のセル:基本施策目標が「事業実績値」

* 総括欄の→は、事業実績値が2014現状値を下回る結果となった理由を記載したもの

基本構想		基本計画						基本目標の総括・行政評価での助言・実績値の理由
イメージ	基本目標	基本施策	基本施策目標値	2014現状値	2019実績値	2020目標値	2025目標値	
山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里	②豊かな文化と心を育むまちづくり	1学校教育	特別支援教育支援員の人数(人)	8	7.0	9	9	→例年必要に応じた配置をしており、2019実績値は適正数。 【基本目標の総括】 ○エアコンの設置や電子黒板の導入等、必要に応じた学校施設の整備に取り組んだ。 ○生涯学習講座の講師人材の確保等を行い、新規講座の開設にも挑戦した。 ○満足度調査の結果では、子育て世代からの回答はほぼ前回値と同様の満足度だった。特に、多文化共生・国際交流の満足度については、70.9%が満足またはやや満足を選択した。 →2014年度は桜平遺跡の復元講座を行った。今後は復元したものをそれぞれが活用して学ぶ段階に入っている。
			小中学校の教育内容の満足度(%)	80	77.8	85	85	
			施設、設備整備の充実度(%)	—	83.9	70	90	
		2家庭・地域における教育	あいさつ運動の履行率(%)	100	100.0	100	100	
			3生涯学習・生涯スポーツ	生涯学習活動の施設や講座メニューの満足度(%)	76.4	71.6	78	
		スポーツ振興、スポーツ施設の満足度(%)		72.3	68.0	75	80	
		4文化の保存と伝承	無形民俗文化財の保存・継承後継者の増加数(人)	0	0.0	30	50	
			文化財に関する講座の参加者数(人)	40	0.0	140	200	
		5多様な学びの場	男女があらゆる分野で対等に活躍できる社会づくりの満足度(%)	47.5	47.5	50	55	
			多文化共生・国際交流の満足度(%)	70.9	34.9	75	75	
	③安心安全に暮らせるまちづくり	1消防・防災・減災	地域防災体制や防災対策の満足度(%)	67.2	44.9	70	70	
			2地域の安全(防犯・交通安全)	防犯対策・消費者相談の満足度(%)	69.7	56.4	70	
		交通安全対策の満足度(%)		76.8	61.8	80	80	
		3町土の保全	土砂災害による死亡者	0	0.0	0	0	

*2019実績値のうち、色付きセルは2014現状値を下回ったもの

- 1) 薄赤色のセル:基本施策目標が「住民満足度」
- 2) 青色のセル:基本施策目標が「事業実績値」

*総括欄の→は、事業実績値が2014現状値を下回る結果となった理由を記載したもの

基本構想		基本計画						
イメージ	基本目標	基本施策	基本施策目標値	2014現状値	2019実績値	2020目標値	2025目標値	基本目標の総括・行政評価での助言・実績値の理由
山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里	④環境と暮らすまちづくり	1 森林・河川の保全	山、河川などの自然環境の保全の満足度(%)	68.2	60.5	70	75	【基本目標の総括】 ○ストックヤードを設置し、町全体でリサイクルに取り組む仕組みづくりを行った。 ○下水道の長寿命化計画や、農業集落排水事業のストックマネジメント計画を策定し、持続的な事業継続に向けて取り組んでいる。 ○平成29年度には、管理の異なる単独簡易水道や飲料水供給施設等12施設を東栄町簡易水道事業として統合し、より効率的な運営が可能になった。 →地区が回収事業を委託していた事業者の都合により終了。また、ストックヤード設置によって、町内で資源回収ができるようになったため。 →地域づくり支援事業補助金制度を活用して景観づくりに取り組む地域団体数としては減っている。しかし、それぞれの地区において道づくり等、清掃活動や景観づくりに取り組んでいる。
		2 廃棄物	1人1日あたりのごみ排出量(g)	789	739	749	710	
			収集ごみの分類数(分類)	11	13	15	20	
			資源ごみ自主回収の実施地区数(地区)	2	1	4	6	
		3 地域環境保全	一斉ごみゼロ運動参加者数(人)	1000	1,428	1,200	1,500	
		4 水道	簡易水道耐震管敷設替率(%)	31.9	31.9	35	40	
		5 汚水処理	下水道接続率(%)	91	92.3	93	98	
			農業集落排水接続率(%)	77.7	84.9	80	80	
6 景観	景観づくりに取り組む団体数(団体)	7	4.0	7	7			

*2019実績値のうち、色付きセルは2014現状値を下回ったもの

- 1) 薄赤色のセル: 基本施策目標が「住民満足度」
- 2) 青色のセル: 基本施策目標が「事業実績値」

* 総括欄の→は、事業実績値が2014現状値を下回る結果となった理由を記載したもの

基本構想		基本計画						基本目標の総括・行政評価での助言・実績値の理由	
イメージ	基本目標	基本施策	基本施策目標値	2014現状値	2019実績値	2020目標値	2025目標値		
山のめぐみを受け ともに築く彩りの里	⑤ 活力のあるまちづくり	1 農業	地区による農地管理(地区数)	4	4.0	4	4	【基本目標の総括】 ○農業の担い手の確保に苦慮している。 ○農業、林業ともに鳥獣被害が深刻な状況であり、対策へは費用も人手もかさんでいる。 ○令和元年度から森林環境譲与税にかかる事業がスタートし、その財源を活用して森林の境界確認をはじめ実態調査を進めていく。 ○平成29年度に振草川の鮎がグランプリを受賞し、町を代表する観光資源となっている。漁協を中心に、鮎の買い取り制度を実施し、町内での経済循環が仕組化された。 ○移動販売事業が定着している一方、事業者の利益や持続性について課題も生まれている。 ○移住者による飲食店や雑貨店等、起業が続いている。 ○平成29年度には東栄町観光まちづくり協会を設立した。FacebookやTwitterを活用した観光情報の発信や、事業者連携のつなぎ役等、行政と役割分担をしながら、観光を切り口にしたまちづくりに取り組んでいる。中でも、地域資源を活用したまちめぐりイベント「ホテルのさんぽ道」は町外から多くの観光客が訪れ、近隣店舗への来客が増える等具体的な成果につながった。 ○naori、ビューティーツーリズムとして商標登録し、地域資源を活用した体験ツアーとして、「美」をテーマに地域全体で稼ぐまちづくりの中核を担うコンテンツとした。	
			新規就農者数累計(人)	1	2.0	3	6		
		2 林業	新規林業就業者数累計(人)	2	2.0	4	6		
			森林整備面積(ha)	134.94	243.0	250	300		
		3 商工業	工業振興・企業立地の施策の満足度(%)	30	19.2	40	60		
			商業・商店街振興の施策の満足度(%)	30.4	18.6	40	60		
			新たな起業者数	0	4.0	5	10		
		4 観光	とうえい温泉入浴者数	172,516	158,079	190,000	200,000		→施設老朽化による故障等への対応として策定した改修計画に沿って令和元年度にはボイラー更新を行ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休業や暖冬の影響等により入浴者数が減った。
			東栄フェスティバル・チェンソーアート大会・和太鼓「絆」プロジェクト・星空おんがく祭りの来場者数(人)	32,800	32,000	36,000	38,000		→新型コロナウイルス感染拡大防止のため、和太鼓絆が実施できなかったため来場者数が減った。
			観光振興の施策の満足度(%)	48.4	28.2	55	60		【行政評価での助言】 ・イベント実施目的が複数化しており不明確になっている。 ・イベントが官主導になるなど、地域経済循環ができていない。 ・イベント等の施策を実施する際、投資を回収する発想が必要。 ・既存店の閉店が続く等、地域内経済循環が弱まっている。 ・小規模な事業者の廃業には複合的な課題が隠れている。
		5 消費者対策	消費者相談実施回数(回)	0	12.0	12	12		

*2019実績値のうち、色付きセルは2014現状値を下回ったもの

- 1) 薄赤色のセル:基本施策目標が「住民満足度」
- 2) 青色のセル:基本施策目標が「事業実績値」

* 総括欄の→は、事業実績値が2014現状値を下回る結果となった理由を記載したもの

基本構想		基本計画						基本目標の総括・行政評価での助言・実績値の理由
イメージ	基本目標	基本施策	基本施策目標値	2014現状値	2019実績値	2020目標値	2025目標値	
山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里	⑥ 定住・交流を支えるまちづくり	1 定住促進	住宅整備率(%)	100	100.0	100	100	<p>【基本目標の総括】</p> <p>○平成30年度は社会増になった他、小中学生の児童生徒数はほぼ横ばいで推移している。IターンやUターンの他、町内での転居及び新築も近年は増加傾向にある。</p> <p>【行政評価での助言】</p> <p>・移住定住について、民の動きが活発になっている。</p> <p>・民にバトンタッチすべきタイミング。</p> <p>→入居していない住宅数には、入居が決定し入居時期を調整中の住宅と、公営住宅の用途廃止後の移転先として確保している住宅が含まれている。</p> <p>○町営バスは平成28・29年度の試行運転を経て、平成30年度には平日の増便を行い通院の利便性向上に努めた。ただし、乗降客数は減少傾向にあり、従来からのバス利用者の死亡や転出が主原因とみられる。また、町営バスは便数が限られていることから、高齢になっても運転を続ける人が減りづらい。今後は、医療センターの新設に合わせて、医療機関や商店、金融機関などが集積する地域をバスが巡回する仕組みを作り、暮らしの利便性確保に努める。</p> <p>○北設情報ネットワークの維持には財政的に大きな負担がかかっているものの、新型コロナウイルス危機以降、サテライトオフィスやリモートワーク等暮らし方や働き方の多様性に伴い、情報基盤整備の充実がより一層求められる。</p>
			分譲地の町外定住人口の増加数(人)	0	10.0	20	40	
			町営住宅等の入居率(%)	98	92.3	100	100	
		2 道路	生活道路などの一般道路の整備の満足度(%)	57.5	49.7	60	65	
		3 公共交通	公共交通の整備の満足度(%)	57.3	49.7	60	65	
4 情報通信基盤	情報通信網の整備率(%)	100	100.0	100	100			
山のめぐみをうけ ともに築く彩りの里	⑦ 協働によるまちづくり	1 地域活動・集落支援	地域づくり活動への支援の満足度(%)	70.8	60.1	75	80	<p>○令和元年度に全地区の集落カルテを作成し、地域と行政との情報共有が行われた。今後も更新作業を続けていく。</p> <p>→人数は減ったものの、一定数は定着している。</p> <p>【基本目標の総括】</p> <p>○令和2年度から、町の情報提供機会の向上を目指して、テレビで情報発信を行う「とうえいチャンネル」を開始した。</p> <p>○平成28年度に、公共施設管理計画を策定した。令和2年度中に個別計画を策定し、長期的な視点に立った公共施設の管理運営に努める。</p> <p>○平成29年度から、総合計画実施計画について、年に1回自己評価を行うとともに外部有識者等による行政評価を実施し、PDCAサイクルによって目標達成を目指している。</p> <p>【行政評価での助言】</p> <p>・高齢化による自助や互助の力の低下、公助への依存度が強化されている。</p> <p>・公共施設の老朽化による更新時期の到来による今後の財政負担の増大が予測されている。</p> <p>・住民と行政が情報共有し、地域経営資源(ヒト・モノ・カネ)管理をする必要がある。</p> <p>・町のオーナーである町民が町の価値を受け入れ、今を判断するための材料を行政は整える必要がある。</p> <p>・地域経営資源が減り、地域内でのニーズも変化する時代にあっては、地域の中でどのように選択し、集中投資をしていくかの議論が必要。</p> <p>・まちづくり基本条例の理念のとおり、まちづくりは、客観的データの共有による、多様な主体によって行うこと。</p>
			NPO・ボランティアへの活動支援の満足度(%)	71.1	49.8	75	80	
			地域おこし協力隊員の定住者累計(人)	0	7.0	10	15	
			外部人材の受け入れ(人)	28	12.0	30	40	
		2 広報・広聴	町の広報や情報公開の満足度(%)	75.4	61.0	80	85	
		3 行財政運営	効率的な行政や財政の運営の満足度(%)	56.3	44.7	60	60	
			役場の窓口などの行政サービス・職員対応の満足度(%)	71.9	63.5	75	75	
		4 広域連携	東三河広域連合における共同処理事務数	0	7.0	6	6	

*2019実績値のうち、色付きセルは2014現状値を下回ったもの

- 1) 薄赤色のセル:基本施策目標が「住民満足度」
- 2) 青色のセル:基本施策目標が「事業実績値」

* 総括欄の→は、事業実績値が2014現状値を下回る結果となった理由を記載したものの